平成２８年度協働のまちづくりチャレンジ事業 申請一覧

Ｂタイプ　１件

タイプ	No.	団体名	１．事業名	２．課題分野	３．事業（活動）の内容			４．目標	５．協働の内容と役割分担	７．事業終了後の取組み予定又は成果の活用		事業費
					①事業の目的及び必要性	②実施する事業の内容				持続可能な事業展開に向けての戦略	持続可能な事業展開に向けての資金計画	
						課題解決方法	実施体制					
B	1	山野地区集落活性化協議会	地域の農業資源と人を活かした山野のチャレンジ ～やまのはひとつ、つなげよう未来に‼～	イ、産業振興事業 エ、定住等促進事業 オ、まちづくり事業 キ、地域活性化事業	1　地域の課題 農業はほとんど兼業農家のため、近年中核農家や営農組織への全面委託が急速に進み、すでに水田総面積約400haの70%以上が全面委託されている。又、特産のサトイモ・チューリップ根球根等が高齢化の影響から栽培面積は減少しており、存続が危惧されている。 一方地区内戸数は20年前と比較し増加しているが、人口は増加していない。これは地理的要因から、地区外からの若い世帯の移住が増加、従来から居住している世帯は勤務の都合による、次世代家族との別居が増加し、一人暮らし高齢者の増加や相対的な若者数の激減が起こっており、地域活動の維持自体が存続の危機にある。 更に市町村合併、JA合併により地区内の主体性が薄れ、少子高齢化と呼応して地区の活気が失われている。 その中、27年度より農林水産省の地方創生施策「農村集落活性化支援事業」から支援をうけ、1.農業振興。2.少子高齢化。3.活性化の目標を掲げ目標達成を目指して活動している。	①特産サトイモを中心とした畑作物を増産し、新鮮野菜を中心にした直売所を展開。栽培講習会(現地指導)等を開催し、品質のレベルアップも図る。 ②新鮮野菜を材料にして、惣菜加工食品の製造販売及びサロン向け等の弁当の配食を実施する。 ③少子高齢化対策として、園児向けに体験農場の開設、ふるさとリターン運動、高齢者独居家庭の要望に対して配食を行うと同時に安否を確認する。 ④拠点施設はコミニティーの場所とし、新鮮野菜等直売所(ふれあい広場やまの)、食堂・喫茶、自治振興会等の組織が活動する拠点とする。	山野地区自治振興会 山野地区社会福祉協議会 山野地区中核農業士会 山野地区生産組合 JAとなみ野農協井波中央支店 山野さといも組合 山野を考える会 山野地区婦人瑞貴の会 いも工房 南砺市南砺で暮らしませんか課 南砺市ブランド課	■従前より自家菜園のみの農家が、直売所開設に伴い、出店農産品(品種)の作付が増え、特に第二の人生を歩まれる高齢者の活躍、および農家の収入増。 ■山野保育園と連携した体験農場開設により、幼少期から、食育の向上、農業に対する愛着、地域へリターンする可能性を高める。 ■高齢者及び独居の方々の配食により、地区民の安否確認。惣菜・加工食品の製造販売により地区民の利便性向上。	■山野地区自治振興会と住民 農村集落活性化事業計画に基づき実行するとともに、次年度以降の計画の再検討<計画の見直しと、継続する計画と、中止する計画の見極め>	■直売所 地域住民の参画、出展者の拡大、栽培講習会による品質向上 ■配食（弁当） 受注数増加のため、サロン及び高齢者宅への配食 ■ふるさとリターン運動 ふるさと便りの発送者を増やす。	■農水省農山漁村振興交付金…平成31年度まで ■山野地区振興基金(自己資金)…拠点施設建設費用 ■山野地区自治振興会助成	H28　32,194千円 内、南砺市補助　2,000千円 H29　5,978千円 H30　5,678千円 H31　5,478千円